

人と動物、一緒に 幸せになろうよ

今年2月、大分市廻栖野に開所した「おおいた動物愛護センター」。保護した犬猫の譲渡、人と動物が互いに理解し幸せに暮らすための啓発活動に取り組む。佐伯久所長に話を聞いた。



同センターの看板犬モップくんを散歩させる佐伯久所長（左）と職員＝大分市廻栖野

「おおいた動物愛護センター」では、保護した犬猫を収容し健康を回復させ、新しい飼い主を見つける譲渡会を開いている。佐伯所長は、それを「出口対策」と言う。「譲渡」という出口を広げることが大事だが、ここに入ってくる犬や猫を減らすための「入り口対策」はもっと大事」

まずは飼い主へ、責任ある飼育を指導する。「その一環として月2回、専門の講師を呼んで犬のしつけ教室を実施している」。1回1時間程度で、飼い主は、知っておくべき基本的なしつけやマナーを学ぶことができる。

子どもへの動物福祉の教育にも力を入れる。学校ごとの見学を受け入れ、動物との関わり方を教えている。現在は、夏休みの特別イベントを企画中。「犬や猫の生態について、楽しみながら学べる内容になる」と言う。

そういった活動をする中でも、保護される犬や猫はいる。元の飼い主への返還が難しければ、新しい飼い主を探す。譲渡会は月4回で、参加には事前の申し込みが必要。

審査を通った人には、飼い方講座のような講習会を受けてもらう。「飼育には、いかに費用も時間もかかるかといったシビアな話もある。譲渡した後、『やっぱり飼えません』では困るから」

飼うと決めたら、家族の一員として迎える覚悟で、それぞれの特徴、習性をしっかり勉強することが必要となる。飼い始めてから、「こんなにほえるとは思わなかった」

見学できます！



猫を飼うための環境づくりが学べる猫飼育モデル室



動物に関する書籍を置いた図書資料室は誰でも利用可能



廊下やエントランスホールには展示コーナーも

一般開放エリアは、予約不要で見学できる（午前9時～午後4時）。希望する人には職員が施設内を案内し、趣旨や取り組みについて説明する。



おおいた動物愛護センター



新しい家族
待ち遠しい

職員らの愛情に触れながら人に慣れ、新しい飼い主を待つ保護犬・猫たち（取材当時）



「言いつことを全然聞かない」などと言う人もいるという。

「愛情を持って接することで、人間と動物が互いに理解し、幸せになれる」と佐伯所長は言う。

不幸な犬猫が一匹でも減るように、同センターでは、命の尊厳、生涯責任を持つて飼うことの大切さを啓発していく。

施設の利用や見学、譲渡会についての問い合わせは同センター（☎097・5080・1122）、午前8時半～午後5時15分）へ。（三重野葉子）

広々ドッグラン



たくさん「友達」ができるといいな～

自由に利用できる登録制の施設。中・小型犬用と大型犬用に分かれており、貸し切りの「専用利用ゾーン」もある。広々としたスペースで、愛犬の運動不足の解消や「友達」づくりはもちろん、飼い主同士の交流の場にもなる。

市内から訪れた女性と愛犬こむぎちゃん